

生涯学習

箱根関所について

Q 1 これまでの整備経過や整備状況、また、平成19年春の全体の開設をすることあたっての今後の整備計画について

次の2点について伺う。
 京口御門、厩、雪隠の4棟を竣工した。
 さらに、関所の機能などを理解していただくため、調度品などの復元も進め、本年4月に一部公開の運びとなりました。

2 今後の誘客宣伝事業の充実や近隣施設である森のふれあい館との一体性を図っていくことも必要ではないかと考えるが

A 1 点目について、昭和58年に「相州箱根関所御修復出来形帳」が静岡県韭山町の江川文庫で発見され、その解説と分析を行った結果、当時の箱根関所の建物や構造物等の全貌が明らかになり、これを基に平成10年度に箱根関所の復元整備を中心とする箱根関跡保存整備事業基本計画を策定した。

そして、平成11年度では基本設計を行うとともに、13年度までの3力年にわたり指定史跡地内の発掘調査を行い、平成13年度からは本格的な復元工事に着手し、平成15年度までに大番所、上番休息所、

とから、双方の施設が協働してお互いの施設への誘客、集客、入館者増を図ることは、厳しい経営状況を改善していく上で必要であると考えます。

2 点目について、誘客宣伝については、いろいろな方法、媒体を活用し、実施をしているが、この箱根関所については、「史実に基づく完全復元」という強力なキャッチフレーズを使うことも可能となるので、歴史的にも貴重な施設である点を前面に、生まれ変わった新たな観光資源として積極的な宣伝をしていきたいと考えている。

財務

入札制度の改善について

Q 町の考え方について、次の2点について伺う。

1 今回の入札制度の見直しの目的は何か

2 今後、改善しなければならぬ点は何か

A 1 点目について、平成5年9月に箱根町入札契約制度改善検討委員会を設置して、入札制度の透明性、競争性、公平性を高めるための技術の見直しを行い、できる限りの改善に努めてきたが、さらなる改善策として、平成16年度から「入札の際の現場説明会の廃止」「町と請負業者との協議手続きの明確化」「入札で不正行為があった場合契約金額の10分の1を違約金として町に支払う」「前払い金の支払い割合を3割から4割という大きく4点にわたる改正を行った。

また、町では現在電子入札システムについて、神奈川県と県内33市町村とで組織する神奈川県内自治体CALS/E C連絡協議会に参画し、電子入札の共同運営にかかるシステムの標準化や整合性について検討している。

この共同運営システムの内容については、工事、委託、物品における入札システム、指名案資料作成・入札結果公表を行う入札情報サービスシステム、また、業者登録を行う業者管理システムの3つから構成されているもので、神奈川県と同じく平成17年度の後半から試行を行い、平成18年度からの本格稼働を目標に準備を進めている。

また、今回の改正に関連して、契約のさらなる透明性を図るため、250万円以上の入札事情報について、どなたでも工事の内容、工期、請負金額、現場代理人、主任技術者、管理



また、今回の改正に関連して、契約のさらなる透明性を図るため、250万円以上の入札事情報について、どなたでも工事の内容、工期、請負金額、現場代理人、主任技術者、管理